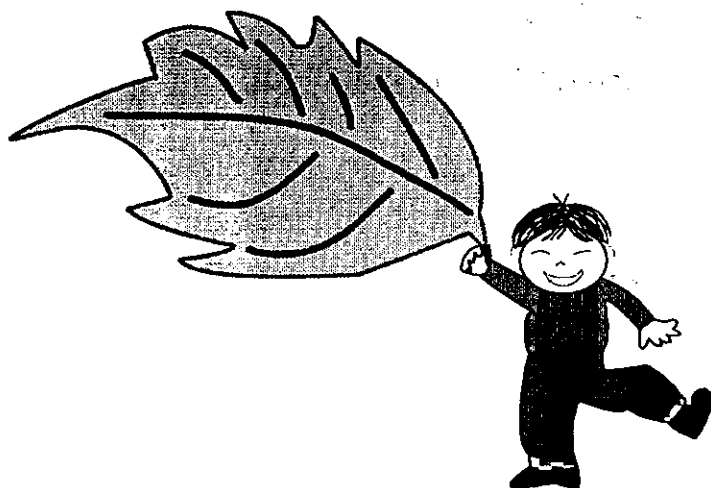


平成12年度 市民環境調査

「こんな木をみつけたよ」調査報告書



川越市

# 目次

こんな木をみつけたよ企画書	1
観察会概要	2
観察会参加者の声	3
観察会の写真	6
観察会を終えて (資料提供：雑木林に親しむ会)	8
参考文献等について	

## こんな木をみつけたよ企画書

□目的 ドングリや木の実から木の種類を理解し、雑木林の植生及び分布状況を調査する。また、調査結果を計画見直し等の基礎資料とし、今後の環境施策に役立てる。

□日時 平成12年11月25日(土) 9:00~12:00

□場所 (仮称)川越市森林公園計画地(砂新田等)

□集合場所 川越市南文化会館(ジョイフル)

□定員 先着20名

□参加費 100円(傷害保険料・当日徴収します。)

□用意するもの 野外活動のできる服装(長袖シャツ・長ズボン・帽子)、水筒、タオル、虫よけスプレー、小雨の場合は雨具(カッパ)

□申込み方法 11月6日(月)から環境政策課まで、直接お電話ください。

□連絡先 川越市 環境部 環境政策課 環境推進係 24-8811  
内線 2613

---

日 程	9:00	集合	ジョイフル	ロビー
	9:00~9:20	注意事項・散策について		
	9:30~10:50	(仮称)川越市森林公園計画地の散策 2グループ程度に分かれます。		
	10:50~11:00	休憩		
	11:00~12:00	講師による講演・質問会・講評		

## 概 要

○日 時 平成12年11月25日（土）9:00～12:30

○場 所 （仮称）川越市森林公園計画地（砂新田等）

○集合場所 川越市南文化会館（ジョイフル）

○講 師 ・雑木林に親しむ会 会員 過 昌司  
・埼玉県生態系保護協会川越 坂戸 鶴ヶ島支部 幹事 稗島 英憲

○参加人数 12名

○職員人数 5名

○スケジュール

### 1. 注意事項・散策についての説明【事務局】

### 2. 雑木林についての説明【過 昌司講師】

- ・雑木林の特徴：300年以上前に人為的に作った林で、木の種類が限られている。木の枝がまっすぐ上に伸びる。目的があって作った林（農業の肥料になる落ち葉を作るため）。

### 野鳥についての説明【稗島 英憲講師】

- ・雑木林の減少により、ここ数年鳥の数が少なくなった。
- ・大きな松の木が無くなり、松の実が減少し、鳥のえさが少なくなった（鳥の生息に影響大）。

### 3. （仮称）川越市森林公園計画地（砂新田等）の散策

- ・1グループで散策

### 4. 雑木林についてのまとめ

過 昌司講師

稗島 英憲講師

### 5. 落ち葉の標本作り

- ・川越市南文化会館にもどり、ロビーにて落ち葉による標本を作成。

## 「こんな木をみつけたよ」観察会参加者の声

参加者14名中5名回答

1. 何を見て・誰から聞いて参加しましたか？（複数回答）
  - 広報・・・3人    ○マナビーガイド・・・1人
  - かわごえ環境ネットの案内・会員から・・・2人
2. 川越にこのような雑木林があるのを知っていましたか？
  - 知っていた・・・3人    ○知らなかった・・・2人
3. このイベントに参加しての感想
  - 鳥の観察を兼ねるのであれば双眼鏡・図鑑などを用意するとか具体的に書いてほしかった。
  - 木の種類の名札を取り付けたらもっとわかりやすいのでは。
  - 木、花、鳥に関しての興味深い話が多かった。
  - 今後もより多くの市民に参加してもらおう為にも、小・中学校や公民館等にも呼びかけが必要と思います。
  - 小・中学校での総合学習で雑木林をフィールドとして使ってもらえば多くの人に興味を持ちます。
  - 野草、樹木、野鳥、昆虫など観察会としては、多岐な分野にわたる。
  - 樹木の専門分野は、地味で研究範囲が広い。今回の自然観察については実にレベルの高いものだと思う。
  - このような雑木林が残っていることにびっくりしました。
  - 地権者、行政、市民の協力でぜひ守っていききたい。
  - 倉庫や構築物が目立ち、いつの間にか雑木林が分断、消失してゆくようで心配です。
  - 粗大ゴミ捨て場になっている所もあり、心が痛みました。
  - 雑木林の地面全面が踏み固められている所がある。観察路を最小限に抑え、木道の設置を望みます。
  - この附近には、水辺がないので、雨水利用か井戸による水辺のビオトープが欲しいです。

○自然を守り、後世に伝えることは、大切であり広報・自治会などあらゆる機関をとらえ、1人でも多くの共感者を募り、継続して欲しい。

○このイベントを更に、魅力ある内容とすべく、管理のサイクル（P・D・C・A）が廻せる仕組みが作成出来ればと思っている。

例えば、

P：どこの雑木林をどの様にチェックするか年度計画の立案。

D：今回実施したように落ち葉・実などの簡略図鑑の作成（名称・押し葉・見分けのポイント特記事項等）カントリーヘッジの作成あるいは看板類の設置など実務面をより多く取り入れる。

C：作成した図鑑の展示（市立図書館・ジョイフルなど）あるいは小学校への寄付他。

A：関心・反響の程度などを見て、若し意見・希望があれば更に、より良くすべく、次回の計画（P）に反映させる。管理サイクルをスパイラルも、廻していく。

#### 4. 雑木林を守るにはどうしたらいいと思いますか？

○森の多くは、相続税によって失われるのではないか。

○開発を差し止める。

○市の森を増やす。

○売買の禁止。

○まず、多くの人々に雑木林を知ってもらう事が守ることにつながります。

○ボランティアによる落ち葉集め等の後、学習会をやったらどうか。

○枝打ち等技術、技能の必要な事を身に付け、市民参加による管理ができるか。

○地権者とかわごえ環境ネットでの意見交換をしてみたい。

○「総合的な学習の時間」のメニューに雑木林での植物、生き物とのふれ合いを組み込むように働きかける。

○地権者への税的優遇措置はできないか。

○イベント（炭焼き、落ち葉による焼きイモ、キノコの栽培など）で雑木林の楽しさをPRする。

○チョウやカブト虫などが集まる仕掛け作りをする。

○近くの畑を人工池としてトンボ園を作る。

○市内には、どこにどの様な雑木林があるか現状把握。次いで、そこにはどの様な条例があるいは開発計画があるかを把握した上で、雑木林を守り育てる賛同を一人でも多く募り、所有者（個人・県・国）との妥協点を見出す。

○今後、ますます”自然”と”豊かさ”との調和を如何に図るかがポイントになり、関係者のベクトル合わせが重要となる。

5. 次はどのような企画を期待しますか？

○春は草花の観察

○県民の森（丸山）ではボランティアが企画して又先生となって月1回程度いろいろ実行しています。

○子供中心の雑木林でのネイチャーゲーム

○イベント性のあるJAとの企画（落ち葉掃き、炭焼き、芋煮会等）

○身近な薬草観察会をやってほしい。

○かわごえ環境ネットの自然環境の専門部会のステップとして考えています。

○雑木林を守り、育てる為の支援活動あるいは補助的な諸業務ならび作業（ボランティア）。

○雑木林以外に、湧水、川辺（沼）、草花ならびに鳥など自然との関わりの深い生態系を対象としたイベント。







## 真剣に勉強しました。成果は落葉のレポート (11月25日)

市主催の観察会、「こんな木をみつけたよ」が下木公園で行われました。親しい会も一語に参加して晩秋で木々が美しくなる紅葉を楽しみました。今回のテーマは森林公園予定地内の植生と分布を知るのが目的です。会からの参加6人と公募による参加者ク名と職員と講師の裨島さん(県生態系保護協会)も入れて20名程度です。

約17ル前に集って説明を受けて林の中へ。そこは木の葉が落ちて夏より明るくはり。見通しが良くなりました。林の中から雑木林の紅葉をみよ。

アオハダ：透けて薄黄色、エゴノキは緑白色、ウワズサクラは明るい黄茶色です。足元には気の早い落葉があり、コナラ、クリ、ケヤキ、それにクヌギは茶色となっています。コナラの小さい木と家で育てると赤い紅葉になるのに、林では茶色に見えるのはとんだ理由なのではないか。歩いてゆくと種々の木に会えますが、アカシデは黄～オレンジ色で、下から見ると陽があたり光輝いています。

ガマズミはまたらの紫色、カマツカはくすんだオレンジ色、ヤマコウバシはくすんだ赤色で、エキは黄色として、ゴズイは表が紫で裏が緑と陽当りの違いか紅葉も木によってまちまちです。

クリとクヌギも葉で見分けよのに、葉脈がはっきりしているのがクヌギ、はっきりしてはなながクリ。長いのがクヌギ、丸いのがクリ(比較して)と分けたのは裨島さん。よく分かりました。

約17ルに戻ってきてひろく集めた紅葉を分類してみると、分かりにくい。とくにサクラ類は裨島さんの出番で詳しく解説していただけます。これでウワズサクラの落枝と勉強になります。

林と歩いた感想は、他の林に少ないケヤキ、クヌギ、エキ、ニシキギ、コマユミ、コブシが見られたこと。野鳥や人による生育があるかもしれない。また緑の葉が残っていますが、林は冬の歩みを進めています。

木の葉ではコナラ、クヌギの「ドンブリ」とエキ、カマツカ、とサワラタキの



実  
実が見つかりました。エコノキはよく捜さなかった為が見つかることできませんでした。

雑木林の樹木一覧

11月25日下松原で観察された樹木

	種名	科名	林での状況
1	アオハダ	もちのき	高木
2	アカシデ	かばのき	高木
3	アカマツ	まつ	高木
4	アカメガシワ	どうだいくさ	低木
5	イヌザクラ	ばら	高木
6	ウコギ	うこぎ	低木
7	ウワミズザクラ	ばら	高木
8	エゴノキ	えごのき	中木
9	エノキ	にれ	高木
10	カマツカ	ばら	低木
11	ガマズミ	すいかずら	低木
12	クリ	ぶな	中木
13	クヌギ	ぶな	高木
14	クワ	くわ	中木
15	ケヤキ	にれ	高木
16	コウヤボウキ	きく	低木
17	コブシ	もくれん	低木
18	コマユミ	にしきぎ	低木
19	ゴズイ	みつばうつぎ	中木
20	サルトリイバラ	ゆり	低木
21	サワフタギ	はいのき	低木
22	シラカシ	ぶな	高木
23	スギ	すぎ	高木
24	ニシキギ	にしきぎ	低木
25	ニトコ	すいかずら	中木
26	ネズミモチ	もくせい	低木
27	ネムノキ	まめ	中木
28	ヒノキ	ひのき	高木
29	ヒサカキ	つばき	低木
30	マユミ	にしきぎ	低木
31	ムクノキ	にれ	高木
32	ムラサキシキブ	くまつづら	中木
33	ヤマウルシ	うるし	中木
34	ヤマコウバシ	くすのき	中木
35	ヤマザクラ	ばら	高木
36	ヤマハンノキ	かばのき	高木
37	リョウブ	りょうぶ	中木

ウコギは参考種、



左の一覧表が、下松原の観察会で

見つけた木の種類です。

市有林で掲示板を用いて、雑木林

の伐採サイクルとここで見られる野鳥の

説明を受けました。

今日、見取り用になった野鳥は、

まだ本格的には冬鳥が渡ってきていない

ので、7種類でした。

ヒヨドリ、ミソウカラ、ハクセキレイ、コゲ

ラ、カワラヒワ、モズ、ホオジロでした。

ジョイフルで作った落ち葉のシールは

林の理解への良いサポートになる

ことでしょう。

終ってから、望年会(12月11日、柴又)、映画鑑賞(キャバリン: 2000年アカデミー賞)

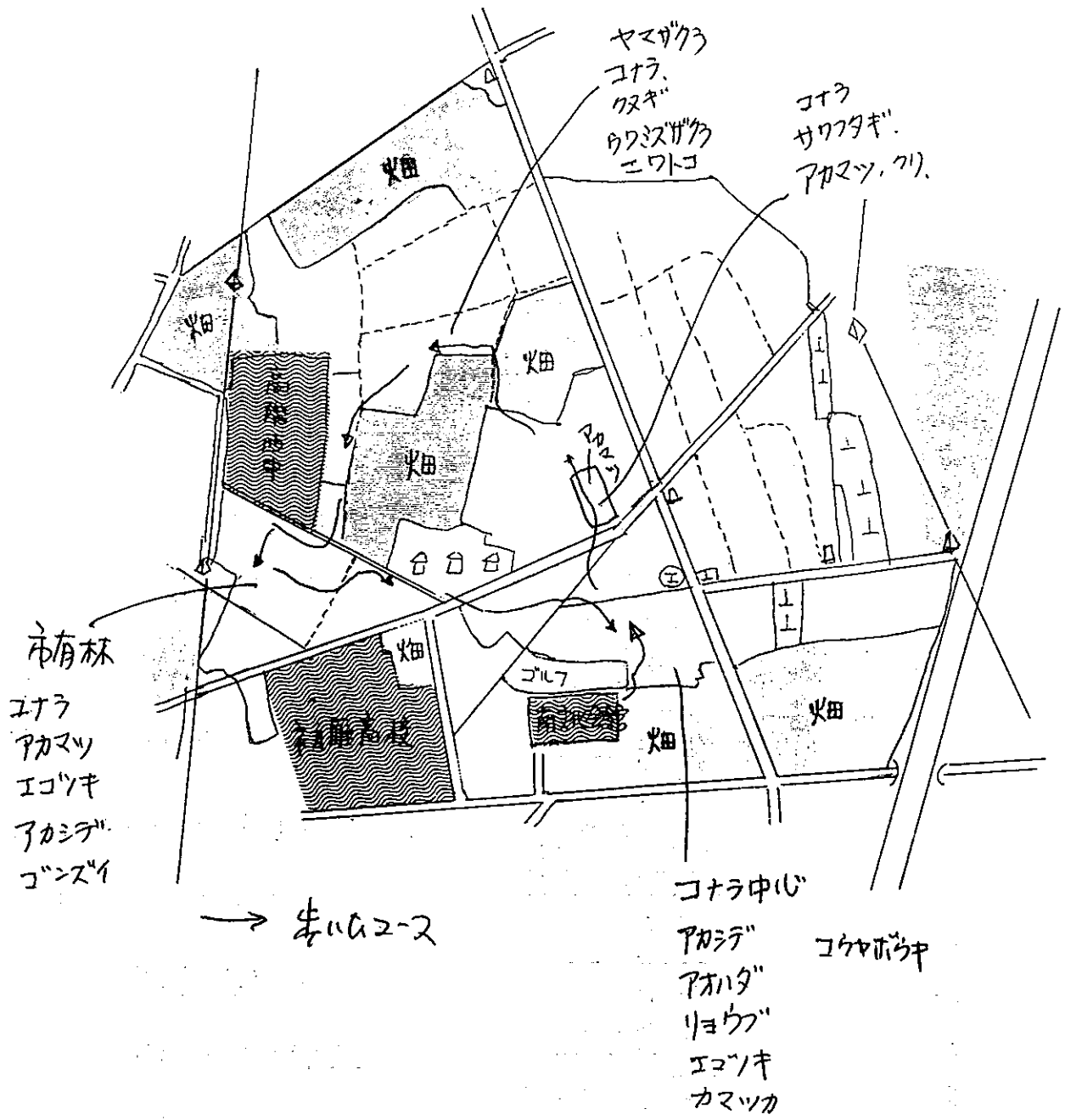
寄付地の調査、しめ縄について話し合いました。そして今日集めた落ち葉のシールを

貼って、名前などは次回に皆で復習することになりました。いつもお菓子とコーヒーの合奏で、

柿、菓子をお持ちいただいた方々に感謝します。

冬芽はクリ(丸い形)、エコノキ(枝におりきり)、リョウブ(長、短)、アオハダ(短枝)、

コナラの鋭い芽と見ることができました。



この林には、ナツハシ、ウグイスカグ、ネジキがあります。

アカシテも一本取り手には印がつけられ。

(エナラとクヌギは屋敷や一里場にも多く林内には少ないです。)

様

# 参 考 资 料

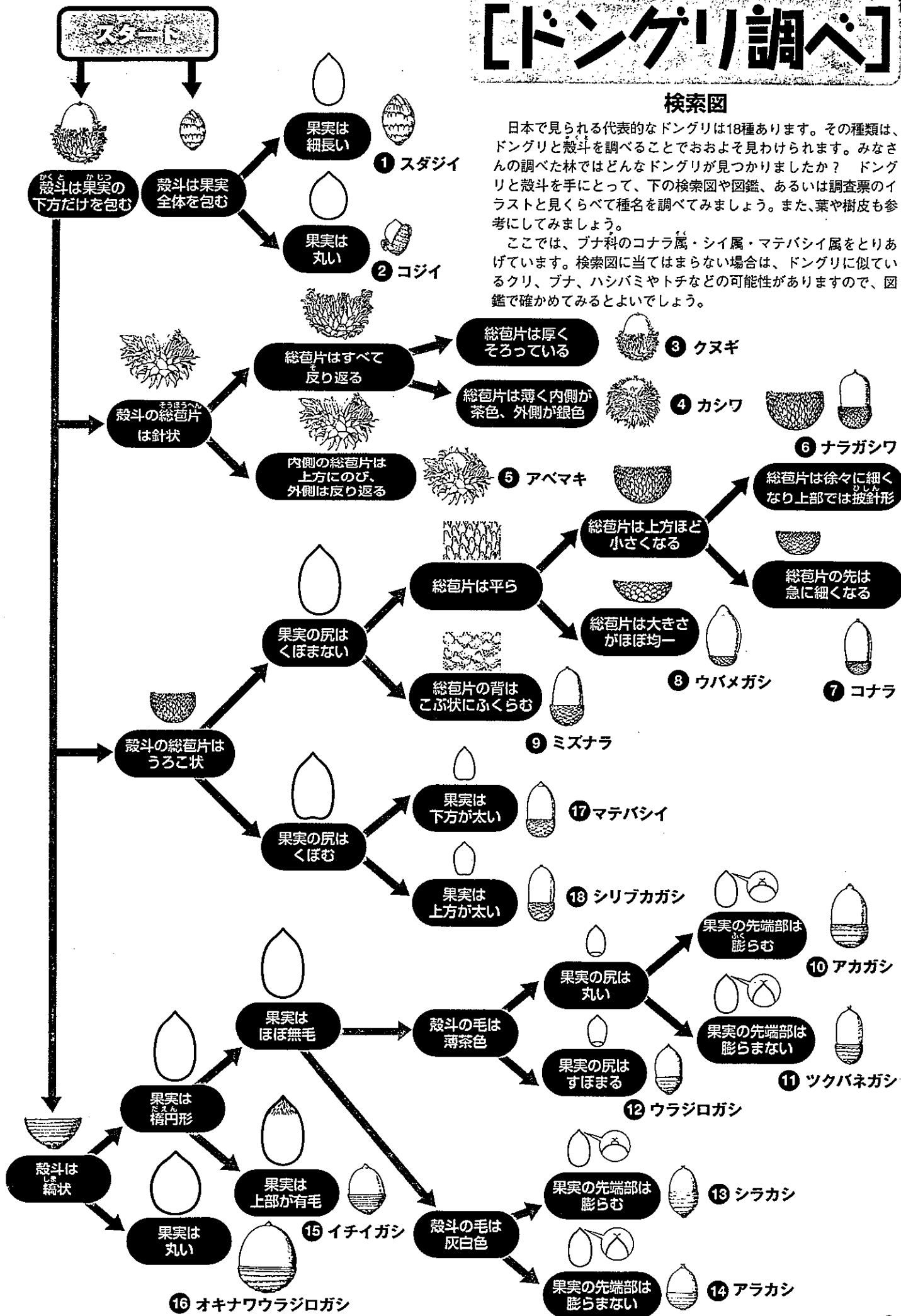


# [ドングリ調べ]

## 検索図

日本で見られる代表的なドングリは18種あります。その種類は、ドングリと殻斗を調べることでおおよそ見分けられます。みなさんの調べた林ではどんなドングリが見つかりましたか？ ドングリと殻斗を手にとって、下の検索図や図鑑、あるいは調査票のイラストと見くらべて種名を調べてみましょう。また、葉や樹皮も参考にしてみましょう。

ここでは、ブナ科のコナラ属・シイ属・マテバシ属をとりあげています。検索図に当てはまらない場合は、ドングリに似ているクリ、ブナ、ハシバミやトチなどの可能性がありますので、図鑑で確かめてみるとよいでしょう。







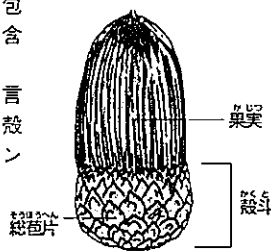
# ドングリ 図鑑

## ドングリとは



ドングリとは、クヌギやコナラのように下方がおわん状または皿状の殻斗で包まれた丸く固い果実の総称で、殻斗を含んで言うこともあります。  
普通はブナ科コナラ属に属する果実を言いますが、ここでは、マテバシイ属や殻斗が果実全体を包むシイ属の果実もドングリとします。

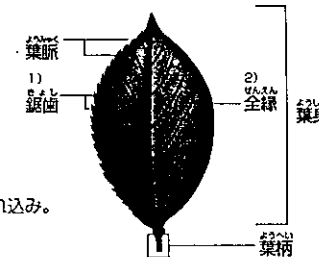
### ●ドングリの部位名



## 用語解説

広葉樹 / コナラ・ケヤキのように幅の広い葉を持った樹木。  
針葉樹 / マツ・スギのように針状、またはうろこ状の葉を持った樹木。  
常緑樹 / 1年中緑の葉をつけている樹木。クロマツのような針葉樹と、クスノキのような広葉樹がある。  
落葉樹 / 冬には葉を落とす樹木。コナラのような広葉樹が多く、針葉樹ではカラマツやメタセコイアなどがある。

### ●葉の名称



1) 鋸歯 / 葉の縁にあるギザギザの切れ込み。  
2) 全縁 / 鋸歯がない葉の縁の形。

## ①スダジイ

ブナ科 シイ属 *Castanopsis sieboldii*



×1.0



×0.15

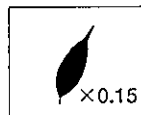
常緑樹。樹皮は縦に浅く裂け、葉の下面は金色です。シイ類の材は耐久性があり、家具、建材などに広く用いられています。分布は福島・新潟県以南の沿岸地域。

## ②コジイ

ブナ科 シイ属 *Castanopsis cuspidata*



×1.0

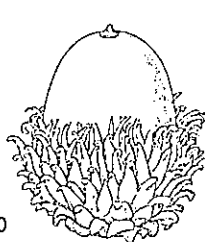


×0.15

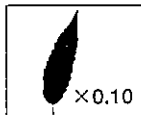
常緑樹。樹皮はなめらか。葉の上半分に浅い鋸歯があり、下面は金色です。シイ類のドングリはタンニンが少なく縄文時代には食用となっていました。分布は東海以西から種子島までの内陸丘陵地。

## ③クヌギ

ブナ科 コナラ属 *Quercus acutissima*



×1.0

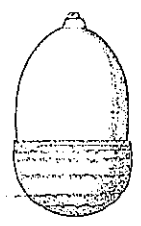


×0.10

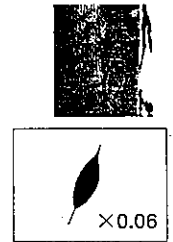
落葉樹。樹皮は縦に深く裂け、葉の下面は淡緑色でほとんど無毛です。鋸歯の先は針のように尖っています。材はシイタケ栽培の原木や良質の炭となります。分布は岩手・山形県から屋久島・種子島まで。

## ⑩アカガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus acuta*



×1.0



×0.06

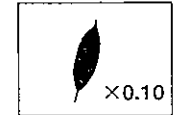
常緑樹。樹皮はなめらかですが、大きくなると不規則にはがれます。葉は長さ8~15センチで全縁。葉の下面は緑色、葉柄は長さ2~4センチで、葉の先は長く尖ります。分布は宮城・富山県以南から屋久島まで。

## ⑪ツクバネガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus sessilifolia*



×1.0



×0.10

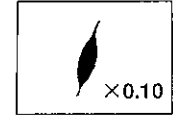
常緑樹。葉は長さ5~12センチで、葉の先だけに浅い鋸歯があります。また、葉は枝先に集まってつく傾向があります。葉の下面は淡緑色で、葉柄は長さ0.5~1センチ。分布は宮城・富山県以南。

## ⑫ウラジロガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus salicina*



×1.0

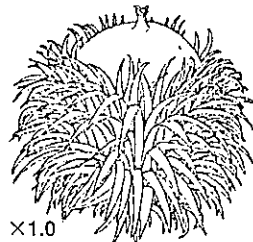


×0.10

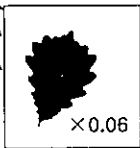
常緑樹。小枝は灰白色。葉の下面は無毛で、名前の通り目立って白色です。中央の葉脈の上面はへこんでいます。分布は宮城・新潟県以南。

## ④カシワ

ブナ科 コナラ属 *Quercus dentata*



×1.0

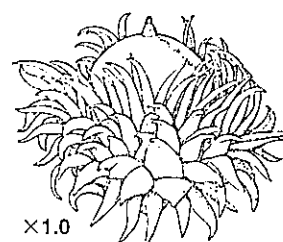


×0.06

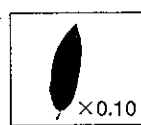
落葉樹。樹皮は縦に深く裂けます。葉の長さは10~30センチで鋸歯は波状。葉の下面は毛が密生し、灰白色です。かしわ餅をつつむことで知られています。分布は北海道から九州まで。

## ⑤アベマキ

ブナ科 コナラ属 *Quercus variabilis*



×1.0

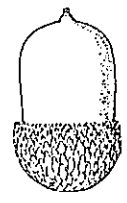


×0.10

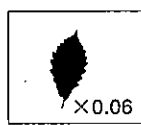
落葉樹。樹皮は縦に深く裂けます。葉はクヌギに似ていますが、下面は毛が密生し、白色です。分布は岩手・山形県から九州中部まで。

## ⑥ナラガシワ

ブナ科 コナラ属 *Quercus aliena*



×1.0



×0.06

落葉樹。樹皮はふぞろいに深く裂けます。葉は鋸歯があり、下面は灰白色です。葉柄は長さ1~3センチ。分布は岩手・秋田県以南から九州まで。

## ⑬シラカシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus myrsinaefolia*



×1.0



×0.10

常緑樹。樹皮はなめらか。小枝は黒色。葉の下面はほとんど無毛で灰緑色です。生け垣や防風樹とされることがあります。分布は福島県以南から屋久島まで。

## ⑭アラカシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus glauca*



×1.0



×0.10

常緑樹。樹皮はなめらか。葉は長さ5~10センチで上半分に大きな鋸歯があります。葉の上面はやや光沢があり、下面は灰白色で毛があります。公園や庭木などによく使われます。分布は宮城・山形県以南。

## ⑮イチイガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus gilva*



×1.0

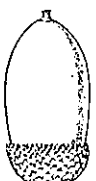


×0.10

常緑樹。樹皮はなめらかですが、大きくなると不規則にはがれます。葉は長さ4~12センチで、葉の上半分に鋸歯があります。葉の下面には黄土色の毛が密生します。分布は関東南部以南。

## ⑦コナラ

ブナ科 コナラ属 *Quercus serrata*



×1.0



×0.10

落葉樹。樹皮は縦に深く裂けます。葉は鋸歯があり、下面は灰白色です。シイタケ栽培の原木に使われます。分布は北海道から九州まで。

## ⑧ウバメガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus phillyraeoides*



×1.0

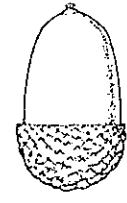


×0.15

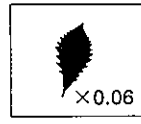
常緑樹。樹皮は縦に浅く裂けます。葉は楕円形で、上半分に浅い鋸歯があります。材は備長炭となります。分布は関東南部以南。

## ⑨ミズナラ

ブナ科 コナラ属 *Quercus crispula*



×1.0

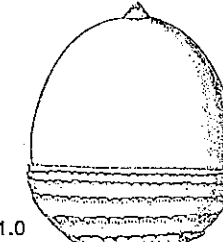


×0.06

落葉樹。樹皮は大きな割れ目ができます。葉は鋸歯があり、下面は淡緑色です。葉柄はほとんどありません。分布は北海道から九州まで。

## ⑯オキナワウラジロガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus miyagii*



×1.0

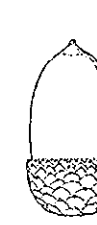


×0.06

常緑樹。葉は先の方に低い鋸歯がまばらにあり、下面は白色または淡緑色です。他の種とくらべて、果実が非常に大きいのが特長です。分布は奄美大島から西表島まで。

## ⑰マテバシイ

ブナ科 マテバシイ属 *Lithocarpus edulis*



×1.0



×0.06

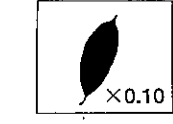
常緑樹。樹皮はなめらか。葉は全縁で葉の下面は薄茶色です。果実は大きくアクも少ないのですが、スダジイやコジイとくらべて美味しくありません。分布は関東南部以南。

## ⑱シリブカガシ

ブナ科 マテバシイ属 *Lithocarpus glabra*



×1.0



×0.10

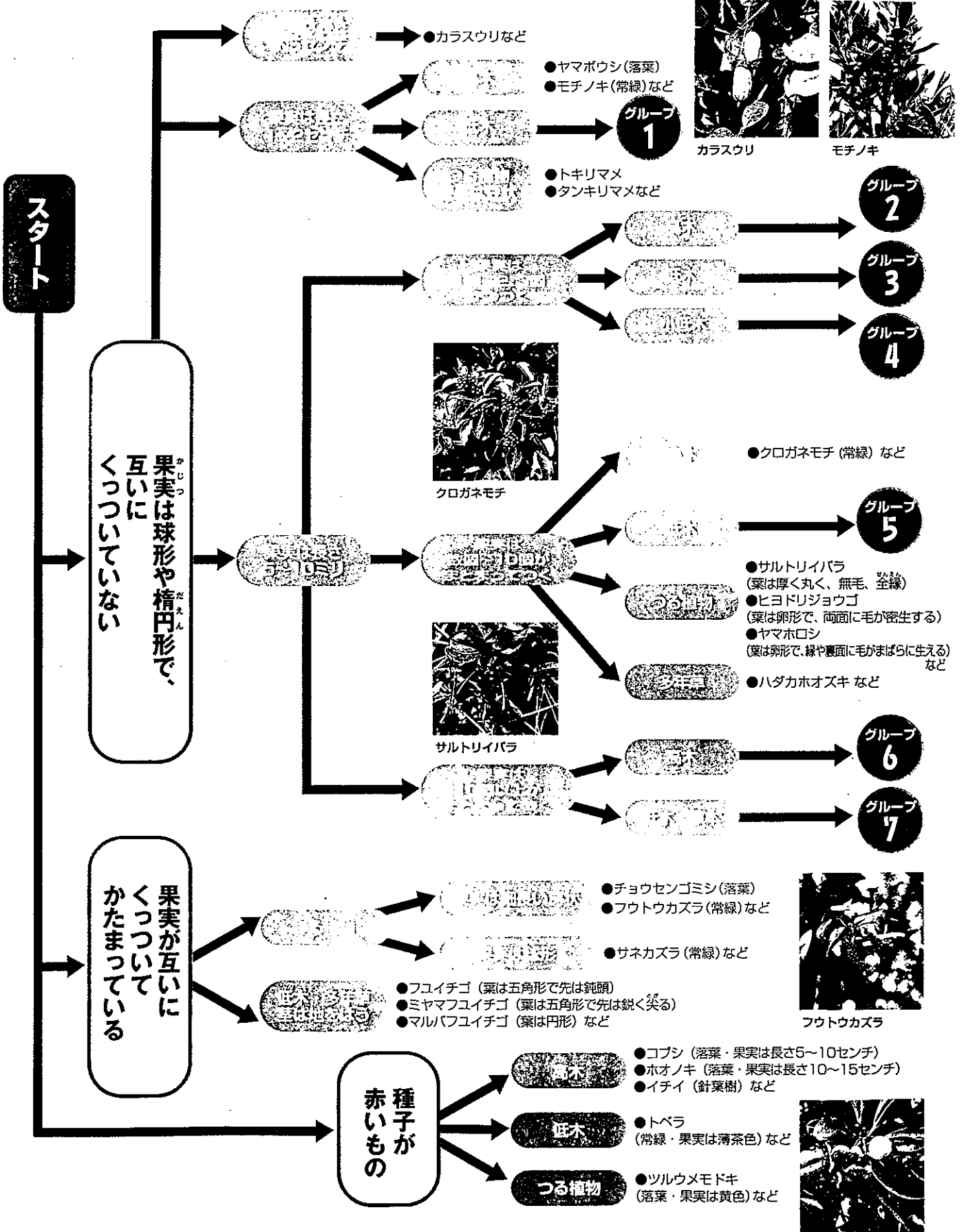
常緑樹。樹皮はなめらか。葉は先の方に浅い鋸歯があり、葉の下面は銀白色です。材は堅く、中国では農具に使われます。分布は近畿地方以南。

# [赤い実調べ]

## 検索図

私たちが森や林を歩いていて目に付くものといえば、赤い実ではないでしょうか？ 黒い実や黄色い実などもありますが、なんといっても赤い実が一番多く見られます。赤い実には鳥に見つかりやすく、食べられることによって、種子をより遠くに運んでもらっています。

赤い実をつけるおもな植物には以下のような木・つる植物・草があります。みなさんの調べた林に赤い実は何種見つかりましたか？ 下の検索図や図鑑を使って種名も調べてみるとよいでしょう。



\*この検索図には載っていないものもあります。ない場合には、図鑑で調べてみるとよいでしょう。

# 赤い実 図鑑

秋に「赤い実」をつけるたくさんの植物のなかから、身近に見られる約70種を選び、果実のつき方や大きさ、生活形などで分類しました（公園などに植えられている外来の園芸種などは13ページの検索図にはありません）。果実と種子の区別はなかなか難しく、果実のように見えても種子であることがあります。たとえば、イチイの「赤い実」のように見えるものは、果実ではなく種子です（写真：右）。種子が赤いものもこの検索図に入れました。

果実の形だけで種名までわかる検索図を作ることは難しいので、検索図で特定のグループに当たったら、図鑑を開いて、図や写真と見くらべ、あるいは葉の形なども調べて種名を確認してみましょう。



果実ではなく種子が赤いもの。イチイ

## グループ①

アオキ（常緑）・ヒメアオキ（常緑）・クコ（落葉）など



アオキ

クコ

## グループ④

アリドオシ（常緑）・ヤブコウジ（常緑）・ツルクウジ（常緑）・コケモモ（常緑）・ツルクケモモ（常緑）など

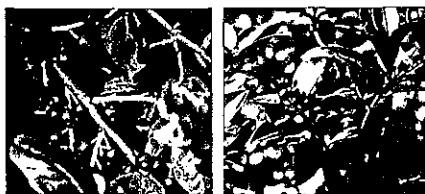


アリドオシ

ヤブコウジ

## グループ⑤

アキグミ（落葉）・オトコヨウゾメ（落葉）・ミヤマシキミ（常緑）・サンショウ（落葉）・フユザンショウ（常緑）・ダンコウバイ（落葉）など



アキグミ

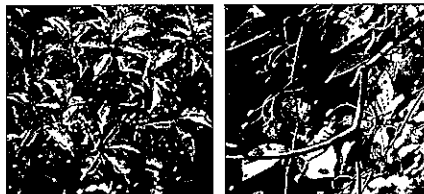
ミヤマシキミ

## グループ②

アワブキ（落葉）・ソヨゴ（常緑）・ズミ（落葉）・カゴノキ（常緑）・アオハダ（落葉）・イヌマキ（針葉樹）など



イヌマキ

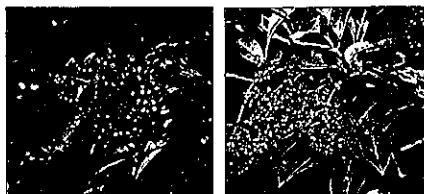


ソヨゴ

ズミ

## グループ⑥

ナナカマド（落葉）・サンゴジュ（常緑）・イイギリ（落葉）・タラヨウ（常緑）・ゴマギ（落葉）・オオカメノキ（落葉）など

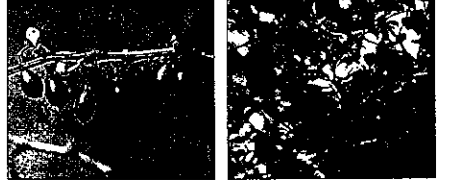


ナナカマド

サンゴジュ

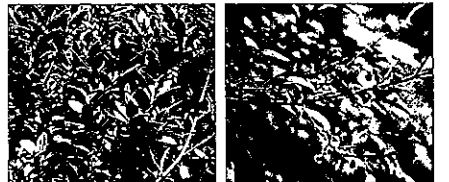
## グループ③

メギ（落葉）・カマツカ（落葉）・ウメモドキ（落葉）・アカミノイヌツゲ（常緑）・ニシキギ（落葉）・コマユミ（落葉）・マサキ（常緑）・ツリバナ（落葉）・ヒロハツリバナ（落葉）・サワダツ（落葉）など



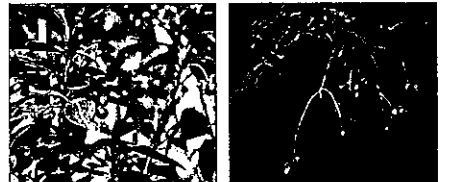
メギ

ウメモドキ



アカミノイヌツゲ

コマユミ



マサキ

ツリバナ

## グループ⑦

ナンテン（常緑）・ガマズミ（落葉）・コバノガマズミ（落葉）・ミヤマガマズミ（落葉）・ヤブデマリ（落葉）・クマヤナギ（落葉）・ハリブキ（落葉）・ノイバラ（落葉）・センリョウ（常緑）・マンリョウ（常緑）・カラタチバナ（常緑）など

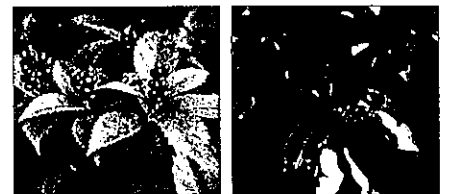


コバノガマズミ



ガマズミ

ノイバラ



センリョウ

マンリョウ

## 参考文献等

☆「第6回緑の国政調査」 身近な生き物調査 2000

調査の手引き 身近な林（秋・冬調査編）

[ドンクリ調べ]

[赤い実調べ]

発行：環境庁自然保護局生物多様性センター

## 参考ホームページ

☆環境庁自然保護局生物多様性センター

[www.biodic.go.jp](http://www.biodic.go.jp)

「第6回緑の国政調査」 身近な生き物調査 2000



---

平成12年度 市民環境調査

「こんな木をみつけたよ」調査報告書

発 行 川越市

問い合わせ先 川越市環境部環境政策課環境推進係

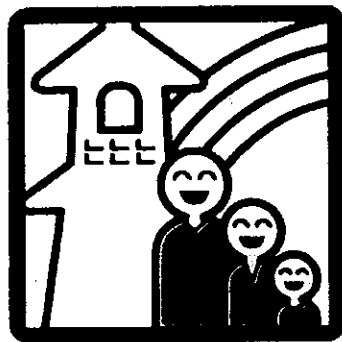
〒350-8601 川越市元町1-3-1

TEL (0492) 24-8811 内線2613

FAX (0492) 25-9800

E-mail kankyo@city.kawagoe.saitama.jp

---



スマイルシティ・川越

<問い合わせ>

川越市環境部環境政策課環境推進係

〒 350-8601 川越市元町1-3-1

TEL 0492-24-8811 FAX 0492-25-9800

E-mail kankyo@city.kawagoc.saitama.jp

(表紙)

R70

古紙配合率70%再生紙を使用しています

(本紙)

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

本市は、平成11年11月11日、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得しました。

